



新型コロナウイルス感染症にかかわる 対応の変更点などについて

1 陽性が判明した際の保護者通知

これまで

- 校内関係者が陽性となった場合すべて緊急メールで報告

9月5日から

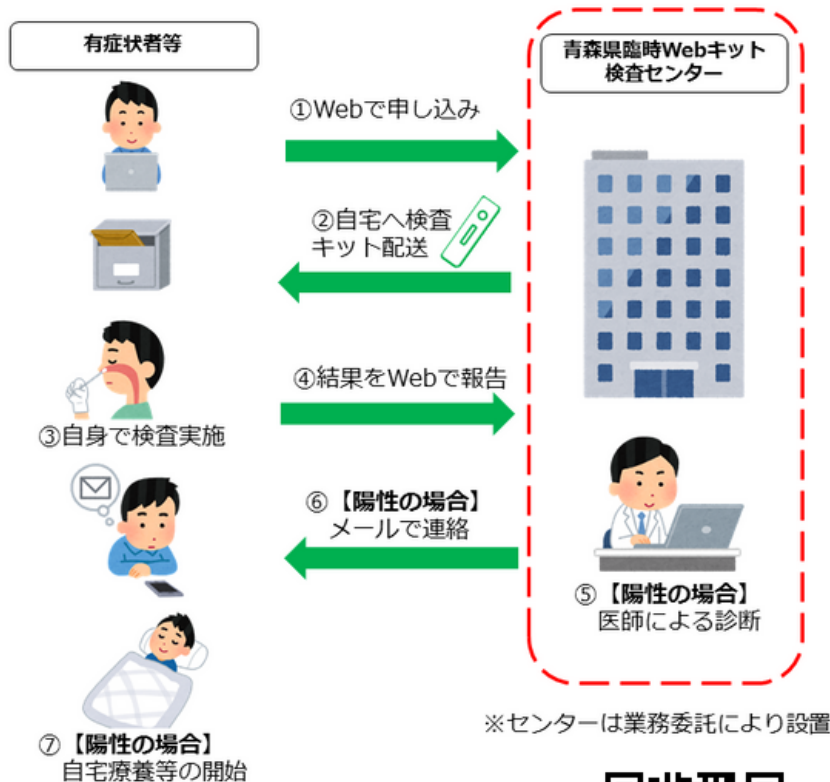
- 接触者なしの場合は報告しない
- 校内に接触者がいる場合や教職員の陽性が判明した場合は通知する

2 療養期間の変更

陽性者の自宅待機期間がこれまでの10日間から、症状軽快から24時間以上経っていれば7日間で解除となります。感染させる可能性は低いもののゼロではありませんので、マスクの着用や人との距離をとるなど予防対策をお願いします。

3 青森県の保健医療提供体制の変更

①青森県Webキット検査センター



かからないために
感染拡大を防止するために

3年生は進学・就職にかかわる試験
1・2年生は新人戦や修学旅行などいろいろな行事があります。

しっかり予防しましょう

1. 身体の抵抗力を高める
2. 発熱・咳・喉の違和感など軽微なものを含み症状がある場合は登校しない
3. 症状消失後48時間自宅待機する

接触者とは

1. マスクを着用していても手の届く距離で15分以上会話をした者
2. 会話を伴って向かい合わせで一緒に食事をした者
3. 呼気が荒くなるような運動をともにしたもの

屋食時の机の向かい合わせや
大声での会話はやめましょう

②青森市陽性者の対応について



重症の時以外は
こちらのページをみて
落ち着いて対応しましょう

青森市オンライン健康
相談についてはこちら
をご覧ください



③青森県 自宅療養者サポートセンター

- 青森市・八戸市以外
体調悪化時の御連絡
電話 050-3187-5854
(受付時間：24時間対応)

自宅療養に関するお問い合わせ
電話 050-3187-5479
(受付時間：9時～22時)

1年思春期ピア教室を実施しました

9月8日青森県立保健大学のスマイルサークルの4名をお迎えし「My flower～みんなの花はどんな色～」と題し、性の多様性について学びました。



今回の思春期ピア教室を実際に体験してみて性の種類は自分の思っていたよりもたくさんありそれぞれの人の個性を否定するのではなく受け入れることの大切さを学びました。自分達が普段おかしいと思っていることも相手からするとそれが当たり前なので自分たちが相手を認める必要があると感じました。LGBTQについては、自分達も知らないことがたくさんあり、世間にも広く知られていないので早くこういう人達が世間から認められるようになって暮らしやすい世界になったらいいなと思いました。

1年保健委員の感想です！

私は今回の思春期ピア教室を受けるまでは男女の多様性LGBTQについてあまり理解していませんでした。テレビやニュースで見てもなんとなくこんなだろうと深くは考えずにいました。しかし今回の講義でLGBTQについて深く理解することができました。講義では性について初めに説明していただき、それでは衣服、外見、発言からその人が、男性・女性のふた通りではなくいろんな性の考え方があるということを教わりました。また、LGBTQの一つ一つの意味もしっかりと理解することができました。レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー・クエスチョニング、ほとんど聞き覚えのあるものでした。これらの考えを持った方々にはそれをうちあけて理解してもらおうとする方や秘密にしておく方がいて、それをうちあけようとする方は相手を信用してカミングアウトしようとしているため言われた側は安易に他の人に言うてはいけなとも教えていただきました。秘密にしておく方には私たちが、その方がいつでもカミングアウトしやすい環境を作っていくことが大事だと考えました。私は今回の講義でこれらのことは世界で広く考え、知ってもらう必要があると思いました。もし周りにそのような方がいたら私はその人の考えを尊重してあげたいと思いました。この講義よりLGBTQの理解者として今後は生きていきたいと考えています。

今回の思春期ピア教室は、今まで知っていた性やLGBTQの理解がまだまだ足りないと思った。

13人に1人は性に違和感を感じている中、自分の周りの人間にもそういった人がいることが普通になっていることが分かった。

私は、友人にカミングアウトされたときにどう対応するかの質問では優しく受け入れ、そして秘密にすることが重要になってきていることや本人の同意なく広めることは決してしてはいけないことが分かった。

LGBTQなどを応援する人をアライと呼び、虹色の物を見につけ、相手からの信頼や自分が理解を示していることを物で表すことが重要だと思った。

これから多様性の時代になっていく為、理解を深めていしつつ、生きやすい社会づくりが重要だと思った。

今回話を聞いて、性の多様性への考えがより深まりました。LGBTに加えて新しくクエスチョニングというのを知りました。衝撃だったことがLGBTQと呼ばれる人たちが13人に1人いることです。最近では性に対する認識が改められてきているのでこのまま偏見を持たずに認識しあえるようになって欲しいです。そのためにもアライのような人たちがいることを多くの人たちに伝えて自分の気持ちを受け入れてもいいということを知って欲しいです。

思春期ピア教室で性やLGBTQについて詳しく知ることができました。LGBTQの割合が100人に7～8人と多いことに驚きました。

LGBTQについて理解し応援するアライと言う言葉を初めて知りました。アライであることを知らせるためにレインボーカラーのものを身につけることでカミングアウトを受ける準備ができていくというメッセージを発信することができることを知ることができました。

LGBTQについて詳しく知ることによって自分の気持ちや感情を表すことはとても大事だと思いました。そしてそれを理解することも大事だと思いました。

私は講座の中に出てきたLGBTQは聞いたことがありましたが、意味をあまり理解してなかったのがこの機会に知れて良かったなと思いました。私の友達に性別は女の子でも時々男の子っぽい格好もしたい時があって一人称を僕にしたいと言ってくれた友達がいます。その当時私は「何を言っているんだろう」と思っていました。LGBTQの話はニュースでよく見かけるようになってから理解できるようになりました。その時から友達がカミングアウトしてくれた時は批判せずしっかり話を聞いてあげたいと思いました。

私は性に対して恥ずかしい、あんまり真剣には話したくないなとは思っていましたが今回講座を受けてしっかり目を向けて考えることも大事だと感じました。

思春期ピア教室を受けて、講師の先生方が様々な表現でLGBTQについての説明をしてくれてとても分かりやすかった。13人に1人の割合でLGBTQに当てはまる人がいると聞いてとても驚いた。そして、男性か女性かとハッキリ別れるのではなくどちらともいえない、中間に当たる人々も多くいるのだと分かり人によってほんとうに様々なんだと感じた。積極的に自分からもっとLGBTQについて理解を深めて知っていきたいと思った。